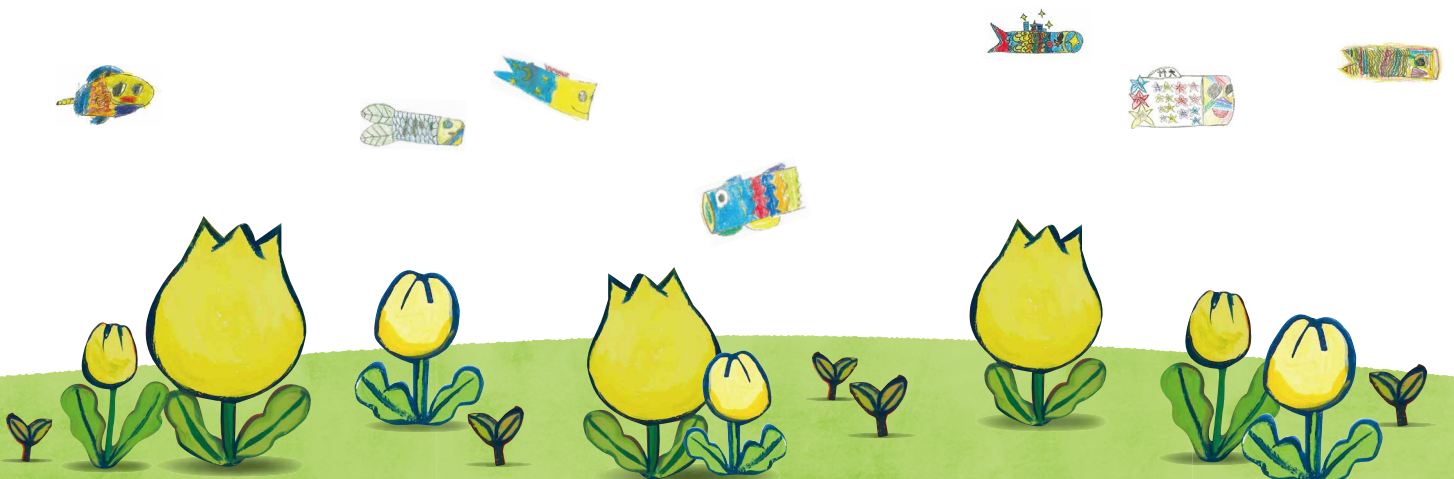


1

教育・文化

広く社会で活躍する人を育むまち
学び楽しむ心豊かなまち
歴史や文化を大切にするまち
一人ひとりを大切にするまち



1 教育・文化



1-1 子どもの学びと成長を支える教育の充実



4年間で実現したい姿

小学校に入学した子どもが安心感をもって新しい学校生活に移行し、主体的に自己を発揮して成長しています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
小学1・2年生の不登校児童数	0人	0人

児童・生徒が主体的に学習に取り組む環境が整い、社会で生き抜く力やコミュニケーション能力を身につけるための学校教育活動が行われています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合	91%	95%

現状・課題

小学校に入学し、新しい環境での学校生活に適応するために配慮や支援を必要とする子どもが増えています。

小中9年間を見通した教育活動や、学習環境への情報通信技術の活用などが進められています。一方で、全国学力・学習状況調査の平均正答率が広島県平均を下回っています。

学校活動の内容は評価委員や保護者から一定の評価を得ていますが、情報の定期的な公開や積極的な発信が十分とは言えない状況です。

グローバル化を見据え、「英語を使う力」をつけるために、中学卒業までに習得すべき語彙や文法が増えています。

取組の方針

総合戦略 国土強靱化地域計画

- 幼児期の育ちと学びを小学校以降の学習などにつなげるための教育課程を編成します。
- 行事、研修会などを通じて幼保小の交流を促進します。

主な事業 幼保小連携事業	総務学事課 福祉課
---------------------	--------------

- 9年間での教育活動を見据え、小学校と中学校の連携を強化します。
- 個々の特徴や理解度に応じて学習課題に主体的に取り組むことができるよう、児童・生徒1人1台学習用端末などの効果的な活用を行います。
- 教員研修を実施し、個々の理解度や発達段階に応じた計画的・継続的な学習指導や生徒指導を充実させます。

主な事業 教育推進事業 (ICT活用事業・指導体制の充実・小中学校の連携)	総務学事課
---	-------

- 保護者の不安や疑問を解消するため、ホームページなどで学校の教育計画などを積極的に公開します。

主な事業 教育推進事業(学校情報の公開)	総務学事課
-----------------------------	-------

- 教職員への研修を実施し、英語指導力の向上に取り組みます。
- 授業や日常の活動で児童生徒が英語を「聞く」「読む」「書く」「話す」回数を増やします。

主な事業 教育振興事業(英語力向上事業)	総務学事課
-----------------------------	-------



総合戦略 国土強靱化地域計画

取組の方針

- 阿多田地区の児童・生徒・学生の保護者の経済的支援を継続します。制度利用の漏れがないよう、周知を強化します。

主な事業	遠距離通学支援事業 (阿多田地区高校生等就学支援事業)	総務学事課
------	--------------------------------	-------



- 奨学金の貸付と若者の定住促進のための返還免除制度を継続します。制度利用の漏れがないよう、周知を強化します。

主な事業	奨学金貸付事業	総務学事課
------	---------	-------



- 地域学校協働活動やコミュニティ・スクールと連携する組織体制づくりとして、各種地域団体などで構成する(仮称)地域学校協働本部を設置し、地域と学校との連携協力体制の強化に取り組みます。
- 地域学校協働活動の普及啓発を行うとともに、活動を推進する役割を担う地域コーディネーター及び地域ボランティアの確保と育成に取り組みます。

主な事業	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (地域と学校の連携協力)	生涯学習課
------	-----------------------------------	-------



- 地域と学校との連携を強化することで、新たな指導者や協力者を発掘し、公民館や学校の空き教室などを活用した「放課後子ども教室」や長期休業日などに開催する「らんらんカレッジ事業」の充実に取り組みます。

主な事業	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室・らんらんカレッジ事業)	生涯学習課
------	--	-------



- 業務の一部を民間事業者へ委託することで、民間の運営ノウハウを取り入れた効果的かつ魅力的な運営を行います。
- 開所時間の延長などの利用ニーズに応じた多様なサービスの充実に取り組みます。
- 放課後子ども教室との一体的な取組や、多様な体験・交流・学びの機会の充実に取り組みます。

主な事業	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブの運営)	生涯学習課
------	------------------------------------	-------



現状・課題

離島である阿多田地区の児童・生徒・学生の保護者の経済的負担軽減のため、フェリー代などの助成を行っています。

優良で経済的に困っている生徒・学生の修学支援のため奨学金の貸付を行っています。返還免除のための市内居住要件が定住促進につながっているか不透明です。

学校と地域団体などの連携が進められていますが、地域や事業によって取組の進捗に差が見られるため、活動を効果的に進めるための組織が必要です。

講師や指導者の人材不足などにより、児童が放課後などに学ぶ場や機会が不足しています。

放課後児童クラブは、施設整備や利用児童の増加への対応、支援員の確保などに追われ、施設の魅力を高める取組が不十分な状況です。

4年間で実現したい姿

居住地や経済的な事情に左右されることがなく、児童・生徒・学生が就学・進学することができています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
中学校卒業生の進学率	100%	100%

地域と学校の協働により、子どもたちの成長を支える体制ができています。児童が安全に放課後や長期休暇を過ごせる場所や学習できる機会が充実しています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
「放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業、放課後児童クラブ事業に「とても満足している」または「満足している」と答えた児童・保護者の割合	-	90%

※放課後子ども教室…子どもの安心・安全かつ有意義な居場所を確保するため、放課後や休日などにおいて、地域ボランティアの協力や各団体・企業などと連携して文化やスポーツや体験活動などを行う事業。
 ※らんらんカレッジ事業…主に長期休暇などにおいて、企業、学校などと連携してものづくりや体験活動などを行う事業。
 ※放課後児童クラブ…保護者が就労などで昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後に学校施設などを利用して適切な遊びと生活の場を提供することで、児童の健全育成を図る事業。



総合戦略 国土強靱化地域計画



取組の方針

- 市の事業に参加した高校生・大学生・社会人が、地域や社会で活躍するための知識や経験、ノウハウを獲得できる体制づくりに取り組みます。

主な事業	青少年育成事業(人材育成)	生涯学習課
------	---------------	-------

- 家庭・学校・地域の幅広い分野の構成員で編成された組織体制を構築し、青少年問題対策に向けた積極的な活動を行います。

主な事業	青少年育成事業(推進体制の充実)	生涯学習課
------	------------------	-------

1-2 未来を担う青少年の健全な育成

4年間で実現したい姿

家庭・学校・地域が連携し、青少年を健全に育成する環境が整い、社会を生きる力や未来を担う創造性、チャレンジ精神、リーダーシップ、コミュニケーション能力などを身につけた人材が育っています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合	-	80%

現状・課題

市の事業に参加した青少年の次へのステップの機会がなく、地域や社会で活躍するための体制づくりができていません。また、地域はもとより世界や全国で活躍する人材の育成を視野に入れた学習の機会が不足しています。

全国的に地域の連帯感が弱まる中で、青少年の健全育成を地域全体で支えるための意識の醸成が求められています。





1-3

生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

4年間で実現したい姿

「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
文化祭・公民館等まつりの参加者数(発表者・来場者)	8,401人	13,300人
市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.4点

現状・課題

生きがいづくり・健康づくり・絆づくりのための生涯学習活動が、一部の市民による活動に留まっています。文化祭・公民館まつりなどでは、発表・出品する方が固定化しています。

地域活動の担い手が減少しています。

図書館は、子育て世代の利用は一定数維持していますが、その他の世代の利用が減少しています。

取組の方針

- 生涯学習グループの支援・育成を行うとともに、学習活動の発表の場を提供します。
- ライフステージに応じた多彩な学習の機会を提供していきます。
- 芸術・文化活動を実践したり鑑賞するための文化祭を、文化協会と連携して開催します。学校などに参加を呼びかけるなど、参加者の拡大に取り組みます。

主な事業	生涯学習推進事業 (生涯学習グループ支援, 文化祭)	生涯学習課
------	-------------------------------	-------

- 協働による地域づくりにつなげるための講座・講演会などの社会教育事業を充実させるとともに、市民の学習活動を支援します。

主な事業	生涯学習推進事業 (社会教育事業)	生涯学習課
------	----------------------	-------

- 豊かな人生を創造する生涯学習を推進するため、読書推進活動の積極的な実施などによる図書館運営の充実に取り組みます。併せて公民館などの一部にも図書を設置し、学習機会の充実に取り組みます。
- 市民の暮らしに役立つ資料などのほか、郷土資料の収集を行うことにより、広い世代の利用者の増加につなげます。
- 乳幼児の豊かな心の育成のため、読み聞かせなど、乳幼児が絵本にふれあう機会を充実させます。

主な事業	図書館運営事業	生涯学習課
------	---------	-------

総合戦略 国土強靱化地域計画



1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進

4年間で実現したい姿

スポーツへの関心が高まり、指導者やボランティアが増え、子どもや高齢者などが元気にスポーツを楽しんでいます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
スポーツ大会の参加者数	189,402人	210,000人
指導者(体育委員やボランティア)の数	128人	170人

現状・課題

子ども向けのスポーツ教室は特定のスポーツに限られ、運動が苦手な子どもや障害のある子どもが参加しづらい状況です。また、高齢者などの地域活動への参加機会となる生涯スポーツは、グラウンドゴルフと卓球以外の普及が進んでいません。

スポーツの指導者の育成に向けた地区体育委員の研修を企画・実施していますが、関心が薄く参加者数が伸び悩んでおり、地域の中での指導者の人材不足につながっています。

取組の方針

- スポーツ団体などと連携し、誰もが参加しやすい子ども向けスポーツ教室の増加に取り組めます。
- より多くの高齢者が参加できるよう、多様な生涯スポーツの普及に取り組めます。

主な事業	スポーツ振興事業(スポーツの普及)	生涯学習課
------	-------------------	-------

総合戦略 国土強靱化地域計画



- 指導者育成に向けた研修会の企画・実施を行いながら、新たに、スポーツ推進委員と連携して地区体育委員やスポーツボランティアを広く公募し、総合型地域スポーツクラブなどが開催する研修会・教室への積極的な参加を呼びかけます。

主な事業	スポーツ振興事業(推進体制の充実)	生涯学習課
------	-------------------	-------



1-5 まちへの愛着と誇りを育む 歴史・文化の保存・継承の推進

4年間で実現したい姿

市の文化財や郷土の歴史を学ぶ機会が充実し、郷土の歴史、伝統文化の継承に関心を持つ人が増えています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
手すき和紙ボランティア参加者数	443人	450人

現状・課題

関係団体の会員の高齢化により、郷土の歴史などを伝承する機会が減っており、結果として市民の郷土の歴史への関心が薄くなっています。

取組の方針

- 関係団体と連携し、手すき和紙などの伝統文化の保存・継承を進めます。
- 学校で文化財や郷土の歴史を学ぶ機会をつくれます。
- 郷土の歴史、文化財の掘り起こし・保存・活用を進め、市全体で文化財保護や郷土の歴史を継承する機運を高めます。

主な事業	文化財保護事業	生涯学習課
------	---------	-------

総合戦略 国土強靱化地域計画





1-6 人権と多様性を尊重する社会づくり

4年間で実現したい姿

人権問題を自分のこととして考えるための啓発や支援が進み、誰もが自分らしく、ありのままにいられる社会に向かっていきます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
「自分自身の人権が保障されている」と答えた人の割合	-	50%

誰もが対等な社会の構成員として、あらゆる分野の活動に参画する機会が確保される社会の形成に向けた取組が進んでいます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
女性の審議会等委員への参画比率	19.1%	30%

国際感覚の豊かな人が増え、多文化への理解が進んでいます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
「地域が他国の文化への理解がある」と答えた外国籍の市民の割合	-	50%

現状・課題

学校や保育所などでの人権教室は計画的に行われていますが、誰もが身近な問題を認識し、人権を尊重した行動ができる状況にはなっていません。

男女共同参画プランにおける女性の審議会等委員の参画比率30%を目標としていますが、令和2(2020)年4月現在で18.8%(県内平均26.5%)と達成には至っていません。

外国籍の人口が増加傾向にある一方、交流が盛んに行われているとは言えない状況です。また、外国籍の人でも理解しやすい「やさしい日本語」の普及があまり進んでいません。

取組の方針

総合戦略 国土強靱化地域計画

- 学校や保育所などでの人権啓発に取り組みます。
- 人権擁護委員や市民グループと連携して、一般向けの人権啓発の強化に取り組みます。

主な事業	人権啓発推進事業	自治振興課
------	----------	-------

- 「男女共同参画プラン」により、地域や職場など社会の様々な活動分野への女性の参画を促進します。

主な事業	男女共同参画推進事業	自治振興課
------	------------	-------

- 他の国の歴史や文化に接する機会や外国籍の人との交流機会を増やします。
- 「やさしい日本語」の普及・理解促進のための講座を充実させるとともに、「やさしい日本語」を用いた行政情報の発信の充実に取り組みます。

主な事業	多文化共生促進事業	企画財政課
------	-----------	-------



●「教育・文化」に関するSDGs指標の例

施策	SDGs指標の例	
施策1-1 子どもの学びと成長を支える 教育の充実		人口1人あたりの教育費
		学校におけるコンピューターの設置割合
		小学生の国語・算数の平均正答率 中学生の国語・数学・英語の平均正答率
		学校での暴力行為発生件数
施策1-3 生きがいと創造性を育む 生涯学習・社会教育の推進		人口1人あたりの社会教育施設割合
		可住地面積あたりの図書館数 可住地面積あたりの公民館数
施策1-6 人権と多様性を尊重する 社会づくり		人口1人あたりの配偶者からの暴力相談件数
		家事従事者に関するジェンダーパリティ指数 (家事に従事する女性の人数/女性の労働力人口)/(家事に従事する男性の人数/男性の労働力人口)
		役員女性の割合 市議会議員の女性の割合

上記は、自治体SDGs推進評価・調査検討会(事務局:内閣府地方創生推進事務局)の「自治体SDGs推進のためのローカル指標検討ワーキンググループ」が作成した「地方創生SDGsローカル指標リスト」の例です。ローカル指標とは、SDGsの「17の目標(ゴール)」と「169のターゲット(達成目標)」に対し、「全国的に公開され利用可能なデータに基づき、全国の自治体の取組を共通の尺度で評価できる指標の例」として作成されたものです。

第1期基本計画では、SDGsの目標の達成に貢献すると思われる施策について、これらの指標を活用して進捗を管理することとし、具体的な指標は実施計画で定めることとします。